

# 2019年度 事業報告書

一般社団法人 CSV開発機構

2019年4月1日～2020年3月31日



---

## CONTENTS

設立の趣旨と目的／役員	01
会員／事業内容	02
年間活動計画	03
2019年度 主要活動状況	05
1年間の活動記録	
[1] 全体セッション	08
[2] シンポジウム	10
[3] 各種プロジェクト	14
[4] 広報・啓発活動	18

---

## ■ 一般社団法人CSV開発機構の設立の趣旨と目的

一般社団法人CSV開発機構は、CSVをテーマとした「地域の公益と企業益を両立させるCSVサーベイランス研究会」、その産官学連携での発展形である「CSVサーベイランスネットワーク」での活動を踏まえ、CSVによる事業創造・社会課題の解決に向けて本格的な活動を推進するために発足した法人です。

私たちCSV開発機構は、高齢化対応・地域の活性化などの社会課題、気候変動などの環境問題など、さまざまな社会・環境課題を抱える現代社会において、企業がCSR（Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任）やISO26000の理念を踏まえつつ、本来の事業展開力を活かした新しいビジネスモデルによって、より良い社会、持続可能な未来を創造していこうというCSVを事業化することを目的とし、その普及と推進に資するものです。

## ■ 役員（2019年6月1日現在）

理事長	赤池 学	
副理事長	水上 武彦	
専務理事	小寺 徹	
理事	大北 博一	(麒麟株式会社)
	加藤 悟郎	(株式会社乃村工藝社)
	森田 俊作	(大和リース株式会社)
	長谷部 直人	(東京書籍株式会社)
	金井 智	(日本ユニシス株式会社)
	平川 健司	(株式会社電通)
	加藤 薫	(ヤマハ発動機株式会社)
	池田 伸之	(株式会社ジェイティービー)
	永山 均	(株式会社a2media)
事務局長	武富 悦彦	(株式会社a2media)
監事	杉本 貴一	(住友林業株式会社)
顧問	渋澤 寿一	

## ■ 会員（2020年2月29日現在）

### （一般会員）

株式会社a2media	川崎重工業株式会社	麒麟ホールディングス株式会社
ゴドモエナジー株式会社	株式会社サーベイリサーチセンター	株式会社GCMスクエアード
株式会社ジエイアール東日本企画	株式会社 J T B	
株式会社JTBCコミュニケーションデザイン	株式会社鈴三材木店	株式会社スペースキー
住友林業株式会社	株式会社竹中工務店	大日本印刷株式会社
大和リース株式会社	株式会社DGコミュニケーションズ	株式会社電通
東京書籍株式会社	株式会社富山	日揮株式会社
日本ユニシス株式会社	農林中央金庫	株式会社乃村工藝社
ブルーブリッジ・パートナーズ株式会社	ヤマハ発動機株式会社	株式会社ワイズ・ワイズ
特定非営利活動法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト		

### （特別会員）

青森県庁	千葉商科大学
弘前市	大東文化大学経営研究所
静岡市	特定非営利活動法人キッズデザイン協議会
浜松市	公益財団法人科学技術広報財団
名古屋市（東京事務所）	特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会
大阪府（公民戦略連携デスク）	

## ■ 事業内容

- ① CSVによる社会課題解決を進めるために必要なビジネスモデル開発を支援する事業
- ② CSVによる社会課題解決を進めるために必要な政策提言を行う事業
- ③ CSVに関わる調査研究事業
- ④ CSVに関わるコンサルティング事業
- ⑤ CSVに関わる受託事業
- ⑥ CSVによる解決を必要とする社会課題の収集を行う事業
- ⑦ CSVによる社会課題解決を進めるために必要なネットワークを構築する事業
- ⑧ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な普及、啓発、交流を行う事業
- ⑨ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な情報収集・発信を行う事業
- ⑩ その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

## 年間活動計画

2019年度の当機構の活動は、機構の目的であるCSVビジネスの創造を現実のものとするために、〔1〕全体セッション、〔2〕分科会活動、〔3〕その他活動の3分野で展開します。

### 〔1. 全体セッション〕

全体を2部構成とし、第1部では、現在進行形の国のビッグプロジェクトについて、そのキーマンをゲストスピーカーとして招聘。その最新動向を共有し、会員企業のCSVビジネス創造の端緒を探ることを目的として年4回程度の開催を計画します。

また第2部では、第1部のテーマに制限されず、会員企業のCSVに関する取組みやシーズ、課題などについての発表、分科会の進捗報告などのディスカッションの時間として設定します。

### ○具体的なテーマ設定およびゲストスピーカー候補（案）

森林環境(譲与)税 政策提言・ビジネス創出	森林・林業自治体と森林を持たない自治体が戦略的に連携、企業や団体と協働することで市民の共感を勝ち得る施策を実施	林野庁・経産省・ 環境省等 都道府県・ 市町村等自治体
シェアリングエコノミーによる 現実化する エコロジー重視の世界	大量生産・大量消費の時代が過ぎ去ろうとし、シェアして利用度を上げることへ付加価値を見出す方向に動き出している。	経産省・内閣府
生産性革命・Society5.0時代 に向けた取組み	第4次産業革命により、世界的に破壊的なイノベーションが進行する中、Society 5.0の社会実装にむけた制度整備について、最新動向を共有する。	経産省・環境省・ 国交省等
地方創生・地域活性化事業 PPP/PFI・インバウンド対策	大手企業が持つ様々なリソースを活用、単独では活かしきれない技術・サービスを、企業JVにより新たな価値を生み出し、自治体フィールドでF/Sを行う。	内閣府・経産省・ 国交省等
関係人口創出事業	移住する「定住人口」でも、観光に来る「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様にかかわる「関係人口」に着目し、地域外との関係性を増やす。	総務省・都道府県 市町村自治体
農業改革・農業の産業化	個人経営から法人組織化、6次産業化等、大手企業と地域、企業や金融がJVすることによって生まれる、新しい農業の姿を提示する。	農水省・中企庁

## 年間活動計画

### [2. 分科会・ビジネス創造]

CSVビジネス創出のトリガーを掴むことが出来た案件を中心に、希望者を募り、分科会を立ち上げる。

事務局および会員企業各々の活動の中で、CSV開発機構として会員企業を巻き込んだ動きが有効となる場合、関係者協議の上、適宜分科会・ワークショップを立ち上げ、ビジネスの具体化を進めます。

#### ○2019年度期首の具体的な分科会テーマ

森林環境(譲与)税	森林から出る「材」ならびに森林の「場」を活用した新しいビジネスモデルを創出。3年程度かけ、森林環境税の模範ビジネスを創出する。	主幹：森林事務局 2019年度 分科会参画企業
関係人口創出事業	南小国町・益田市・福井県での実績を活用し、都市住民・企業人の新たな生き方・働き方の提案を行う。	主幹：事務局 幹事：日本ユニシス
地方創生・地域活性化	MaasやICO等、大手の技術・サービスと、地域事業者が持つネットワークを駆使して、他の自治体に先駆けた地域活性化事業を創出する。	主幹：事務局 幹事：（募集中）
PPP/PFIを活用した地域創生事業	弁天島再開発や知多有料道を活用した知多半島活性化等、具体的なフィールドを定め、広域連携によって生まれる地域創生事業を実施する。	主幹：事務局 幹事：大和リース
インバウンド対策によるサービス産業活性化	地方でのインバウンド対策(言語・決済等)や、直近に迫った消費税アップ(軽減税率対応等)等、地方おけるサービス事業者の対策を実施する。	主幹：事務局 幹事：電通・JTB等
【テーマ募集中】	全体セッションのテーマに限らず、幅広くテーマを募集。内容に応じて他企業、自治体等を事務局が集めJVを組成します。	主幹：事務局 幹事：

### [3. その他の活動]

機構の安定的な運営に寄与するため、機構の認知度向上、社会的地位の向上を目指した活動を事務局主導で展開します。

- 広報・啓発関連
- 事業開発関連－シーズ先導型
- 事業開発関連－省庁・自治体連携型

## ■ CSV開発機構 2019年度 主要活動状況

### 2019年

04月	[機構運営]	理事会 (23日)
05月	[講演]	NTTドコモ地方創生セミナーin鳥取 (小寺専務理事) (14日)
	[官民連携]	飯能市森林勉強会 (飯能市) (20日)
	[機構運営]	定時社員総会及び理事会 (24日)
	[官民連携]	川崎市「都市の森プロジェクト」勉強会 (川崎市) (28日)
06月	[講演]	森づくりフォーラム (小寺専務理事) (2日)
	[セッション]	第1回全体セッション「ポスト6次化・新農産業連携に向けた新たな事業機会の創出」(18日)
	[官民連携]	福井県関係人口創出セミナー (21日)
07月	[官民連携]	まちのりスタディーツアー (15日)
	[官民連携]	特別区森林環境税勉強会 (23日)
	[機構運営]	中部電力CSV勉強会 (26日)
	[官民連携]	飯能市西川材活用勉強会 (30日)
08月	[官民連携]	愛知県森林環境(譲与)税勉強会 (小寺専務理事) (1日)
	[官民連携]	矢祭町関係人口創出事業説明会 (3日)
	[官民連携]	矢祭町森林環境(譲与)税会議 (14日)
	[官民連携]	林野庁「森林サービス産業」検討委員会 (赤池理事長) (26日)
	[官民連携]	新潟県立自然科学館勉強会 (赤池理事長・小寺専務理事) (27日)
09月	[官民連携]	矢祭町関係人口創出事業勉強会 (7日)
	[セッション]	第2回全体セッション「都市公園における新たな官民連携事業創出」(20日)
	[官民連携]	矢祭町関係人口創出事業 現地実践活動 (21日-23日)
	[官民連携]	飯能市まちづくり勉強会 (24日)
	[機構運営]	水ba視察会 (25日)
10月	[官民連携]	矢祭町関係人口創出事業勉強会 (5日)
	[官民連携]	豊島区観光振興委員会 (小寺専務理事) (11日)
	[官民連携]	林野庁森林サービス産業専門部会 (小寺専務理事) (23日)
	[官民連携]	新潟県立自然科学館プレゼンテーション (小寺専務理事) (24日)
	[官民連携]	矢祭町関係人口創出事業勉強会 (26日)
	[機構運営]	千葉商科大学アクティブラーニング授業 (小寺専務理事) (28日)

## ■ CSV開発機構 2019年度 主要活動状況

11月	[官民連携]	矢祭町関係人口創出事業勉強会（16日）
	[シンポジウム]	ウッドデザインシティシンポジウム 木がまちを変える（共催：川崎市）（18日）
	[官民連携]	林野庁Forest Style発足式（小寺専務理事）（19日）
	[官民連携]	林野庁森林サービス産業検討委員会（赤池理事長）（19日）
	[官民連携]	飯能市勉強会（小寺専務理事）（22日）
12月	[官民連携]	飯能市東吾野小学校跡地検討（4日）
	[官民連携]	内閣府消費者委員会ヒアリング（水上副理事長・小寺専務理事）（5日）
	[官民連携]	宮崎県x川崎市xソラシディアxCSV地方活性化会議（小寺専務理事）（5日）
	[機構運営]	千葉商科大学アクティブラーニング授業（小寺専務理事）（9日）
	[官民連携]	矢祭町関係人口創出事業勉強会（10日）
	[機構運営]	理事会（17日）
	[官民連携]	矢祭町関係人口創出事業 成果発表会（21日-22日）
	<b>2020年</b>	
01月	[官民連携]	矢祭町関係人口創出事業勉強会（18日）
	[機構運営]	新潟県立自然科学館 運営準備（23日-24日）
02月	[講演]	木材産業SDGsビジネスの可能性（赤池理事長・小寺専務理事）（1日）
	[官民連携]	林野庁Forest Styleフォーラム（3日）
	[官民連携]	森林サービス産業勉強会（4日）
	[官民連携]	飯能市東吾野小学校跡地視察見学会（5日）
	[官民連携]	川崎市木材利用促進フォーラムワークショップ（13日）
	[官民連携]	福井とつながるイブニングセミナー（13日）
	[官民連携]	総務省関係人口発表会（17日）
	[機構運営]	未来まちづくりフォーラム（20日）
	[官民連携]	豊島区観光振興委員会（小寺専務理事）（20日）

## ■ CSV開発機構 2019年度 主要活動状況

03月	[機構運営]	理事会（10日）
	[官民連携]	宮崎県x川崎市xソラドエアxCSV地方活性化会議（小寺専務理事）（10日）
	[官民連携]	小田原市x川崎市xCSV地方活性化会議（小寺専務理事）（18日）
	[セッション]	第4回 全体セッション「健康経営を実現させる戦略的CSV事業の創出」（23日）

## 1年間の活動記録

### 〔1〕全体セッション

#### 第1回 「ポスト6次化 新・農産業連携構築に向けた官民連携の新たな事業機会の創出」

2019年6月18日(火) / 15:00-18:00 / ノムラスタジオ (乃村工芸社B1F)

##### 講演1

「新しい官民連携による農業の6次産業化」  
～ポスト6次化を見据えた事業機会の創出～

高橋 広道 様 (農林水産省 食料産業局 産業連携課長)



##### 講演2

「森林・林業分野における農林中央金庫の取組みについて」

田中 正彦 様 (農林中央金庫 営業第五部 森林担当部長)



##### 講演3 : 会員企業プレゼンテーション

「ブルー・ブリッジ・パートナーズ株式会社」

#### 第2回 「都市公園における新たな官民連携事業創出」

2019年9月20日(金) / 15:00-18:00 / ノムラスタジオ (乃村工芸社B1F)

##### 講演1

「新しい官民連携による都市公園の活用」  
～まちづくりにおける都市公園が果たす役割～

町田誠様 (公益財団法人東京都公園協会専門アドバイザー)



##### 講演2

「使える花と緑、公園・緑地活用の新たな試み」  
～日比谷花壇の取組み～

芹田 博幸 様 (株式会社日比谷花壇 ビジネスソリューション事業本部 チーフクリエイター)



##### 講演3 : 会員企業プレゼンテーション

「株式会社竹中工務店」  
「株式会社ワイズ・ワイズ」



## 1年間の活動記録

### 〔1〕全体セッション

#### 第4回 「健康経営を実現させる戦略的CSV事業の創出」

2020年3月23日(月) / 15:00-18:00 / ノムラスタジオ (乃村工藝社B1F)

##### 講演1

「健康経営に資する森林空間が果たす役割」

～健康経営に貢献する「森林サービス産業」のモデル手法の考え方～

木下 仁 様

(林野庁 森林整備部 森林利用課 山村・振興緑化推進室 室長)

「健康経営銘柄」に選出された戦略的健康経営」

～ESG / SDGs視点から見た今後の企業経営のあり方～

鍋山 徹 様

(一般財団法人日本経済研究所 専務理事・チーフエコノミスト)

「福利厚生を活用した戦略的企業連携」

～余暇を活用した他社の一歩先を行く企業連携～

平松 永 様 (株式会社JTBベネフィット ソリューションデザイン部 部長)

\* 新型コロナウイルス感染状況を鑑み中止としました。

## 1年間の活動記録

〔2〕 シンポジウム：まちづくりシンポジウム（兼 第3回全体セッション）

### 「ウッドデザインシティシンポジウム」

～木がまちを変える～

2019年11月18日（月） / 14：00-17：00 / ラゾーナ川崎プラザソル

【第一部】

基調講演

「森、みどりを内包する都市のまちづくり」

横張 真 様

（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授）



講演

「川崎市の木材利用促進に向けた取組みについて」

矢島 浩 様

（川崎市まちづくり局 総務部長）



【第二部】

パネルディスカッション

「森の都市づくりにむけて私たちができること」

（パネリスト） 小林 光 様（東京大学大学院文化研究科広域科学専攻 客員教授）

杉本 貴一 様（住友林業株式会社）

塚田 雄也 様（川崎市まちづくり局 総務部企画課 課長）

長野 麻子 様（林野庁 木材利用課長）

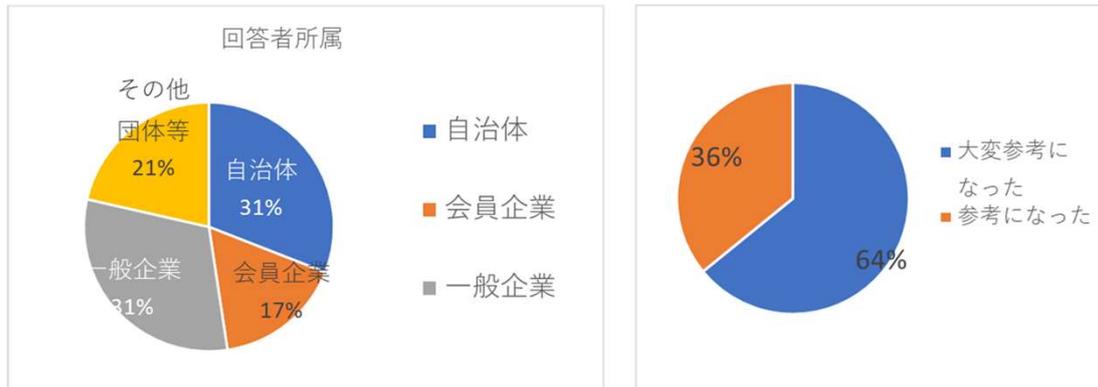
石井 玲子（一般社団法人CSV開発機構 主任研究員）

（モデレーター）横張 真 様（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授）



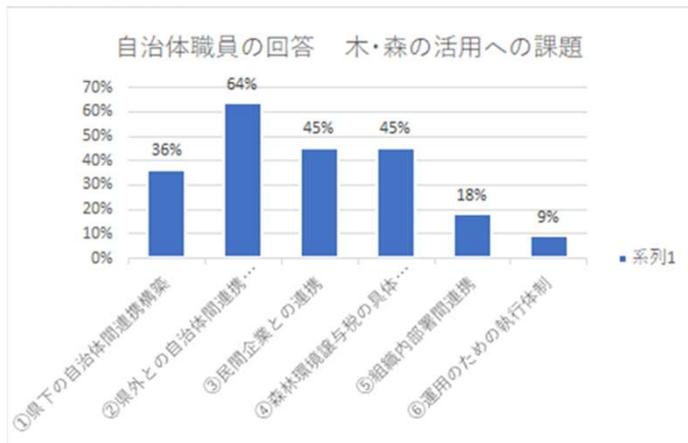
## 1年間の活動記録

### 〔2〕シンポジウム：まちづくりシンポジウム アンケート



### Q4～5. 本税担当者としての現状の課題⇒課題解決のための検討策

#### 1) 自治体職員



#### 考察

自治体職員が感じる森林環境譲与税に対する課題概ね以下のように考えられる。

- ・都市部、森林を所有する県いずれも、県外の連携先自治体を模索中かつ、緊急性の高い課題と感じている
- ・県、市区町村ともに森林環境譲与税の用途はいまだ模索しているところが多い
- ・森林関連以外の部署の方が、その活用のための資金捻出に苦慮していることがうかがえる

## 1年間の活動記録

〔2〕シンポジウム：まちづくりシンポジウム アンケート

### 企業

- ・川崎市の取組例を知ることができてよかった。
- ・川崎市と地方創生の取組
- ・公共交通と同様、単純な金額面や維持コストだけでの比較ではなく、木造建築や木質化が寄与するトータル的な価値観で判断すべきだと思った。
- ・横張先生の領域の可変性という考え方、解決策が斬新でわかりやすかった。今の世の中にマッチした仕組みでとても参考になった。
- ・自分とは違った目線での見解が良かった。
- ・時間軸と静止画、動画という観点
- ・パネルディスカッションのハード、ソフト、特にソフトでの価値を上げる方法が参考になった。
- ・パネラーが良かった。
- ・参考にはなりましたが、個人的には第二の森林が増えると第一の森林が減ること、長野さんの話に再造林費が山に戻らないというのがありました。そもそも国産材は値段の割に質が悪いから買えないなど、もっと本質的な話が聞きたかった。

### 自治体

- ・エビデンスが欲しいというコメントに共感します。感覚的な話では進みが遅く、どうしてもメリットを求められる。区市町村の説明に大きく関わります。
- ・スケルトン、インフィルの観点から話題を広げると理解が進む、木材ですべて埋め尽くさない、自然の時間変化の利用、の観点が勉強になった。
- ・いいものは高い、をどう皆に理解いただくかを考えたい。
- ・いいものは高い
- ・パネルディスカッションで第一線で活躍している方々のお話が大変参考になった。
- ・普段聞くことのできない専門分野の方々のお話を聞くことができて大変参考になった。
- ・様々な立場からの意見が聞けて良かった。
- ・パネルディスカッションの内容が大変勉強になった。
- ・木の普及に向けてエビデンス以外の付加価値の必要性を感じました。

### その他

- ・石井さんのお話で大変共感しました。ストーリー、とても大切だと思いました。
- ・横張先生のお話がよかった。
- ・普段使っている言葉が様々な形で表現されるのはよかった、ボキャブラリーが増えた。
- ・木遣いの取組が良く分かった。川崎市の取組が実を結ぶことを祈ります。

## 1年間の活動記録

〔2〕シンポジウム：まちづくりシンポジウム アンケート

### Q2.本シンポジウムに参加したことで新たに生まれた疑問・質問があればお聞かせ下さい。

#### 企業

- ・引いていった都市の隙間に緑の公園ができていくのはいいが、その後の維持更新はどうなっていくのか。柏市の構想も知りたいと思った。
- ・横張先生が仰った時間軸に例えるなら様々な問題はP/L的な思考に行きつく。単年度。
- ・木を使う大切さを痛感しました。
- ・川崎市の木育・木材利用の普及啓発は駅のイベント以外にどのような取り組みを考えているのか。フォーラムの活動でどのような議論をされているのか。
- ・本シンポジウム参加者は林業、木材利用等に関係した方が多く、木材利用を推進するためには木材利用に関係のない分野の方々を引き入れることが必要だが、どのようにすれば関心を持っていただけるか。これを皆で考えていくことが大事である。
- ・輸入木材の制限
- ・CSV開発機構と木材利用促進の関係、なぜそこに行きついたか。

#### 自治体

- ・川崎市の木材利用に関する気運はどこからどのようにして発生したのか。何が結果的に動かしたのか。
- ・価値の創出の考え方

#### その他

- ・エビデンスは職場から常に触れているが、まだPRが足りないことを痛感した。始まったばかりの研究でもあるということは事実でもある。木材コーディネーターとして一つ引き出しができた。

## 1年間の活動記録

### 〔3〕 各種プロジェクト

#### ① 関係人口創出セミナー：福井県・福島県矢祭町

総務省が地域活性化の柱とする「関係人口」。

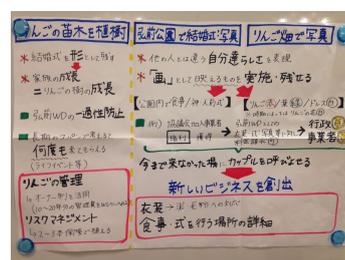
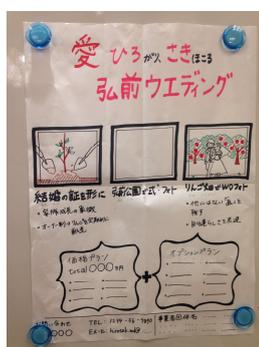
地域活性化に興味を持つ首都圏の方々に地方に興味を持っていただき、観光以上定住未満で地方活性化に資する事業を模索いただく施策です。

当機構は理念に共鳴し初年度から業務参画、今年度は福井県と福島県矢祭町の事業を推進しています。



#### ② CSV大学 in 弘前：千葉商科大学・人間社会学部

フィールドインターンシップを通じて策定した事業計画を元に、地元公益団体の実施するアイデア募集事業に応募。助成事業として採択された「愛・ひろさきウェディング」の予算を活用し、地元ウェディング事業者の皆さまとともに商品開発。7年目となる今年は新しい視点による地域活性化手法を探っています。



\* 新型コロナウイルスの関係でフィールドワークは中止しました。（座学は実施）

## 1年間の活動記録

### (3) 各種プロジェクト

#### ③ 関係人口創出事業：矢祭町（福島県）

項目	日程	会場
第1回講座	2019年9月7日（土） 14:00～17:00	ビジョンセンター日本橋 本館4階 401 中央区日本橋室町1-6-3 山本ビル
第1回現地活動	2019年9月21日（土） ～2019年9月22日（日）	矢祭町役場など
第2回講座	2019年10月5日（土） 14:00～17:00	ビジョンセンター日本橋 本館4階 401 中央区日本橋室町1-6-3 山本ビル
第3回講座	2019年10月26日（土） 14:00～17:00	
第4回講座	2019年11月16日（土） 14:00～17:00	
第2回現地活動	2019年12月21日（土） ～2019年12月22日（日）	矢祭町役場など

#### 矢祭町について

矢祭町は福島県の最南端、福島、茨城、栃木の3県にまたがる霊峰八溝山の東、交通の要衝から見ると郡山市と水戸市の中間に位置する人口6千人弱の町です。  
「高速道路のIC」や「新幹線駅」、「空港」といった全ての広域交通網から1時間以上かかる場所に位置する「交通網の狭間」でもあります。そのため「東北地方の最南端」、「郡心部までは2時間半」という距離にも関わらず、擦れていない自然そのものが多く残されています。



【地域概要】	
項目	内容
人口	5,759人
面積	118.22㎢
世帯数	2,067世帯
高齢化率	38%
主な産業	農業
主な特産品	鮎、イチゴ、ゆず、こんにゃく、緑茶
主な祭り、イベント	天正節：200年以上続く郡内最大の伝統ある祭、やまつり定例祭・郡内から多くの人が集まる矢祭町の夏祭り、やまつり（CSF）：郡内外の小学生が旗を舞う久慈川における地域祭典。

矢祭町の景観は、町の中央部を流れる久慈川とその両脇にそびえたつ八溝山系、阿武隈山系により特徴づけられる立体的な自然美です。これは、矢祭町付近が、5000年以上前に活動を停止したと言われている新層「新層構造線」上に位置しているからであり、断層の断面にあたる急峻な山肌が「矢祭山公園」をはじめとする独特の景観を生み出しています。



事業説明会



WS風景



現地活動：事業報告会



現地活動



現地活動

## 1年間の活動記録

### (3) 各種プロジェクト

#### ④ 飯能市：小学校跡地活用 CSV事業の可能性調査



小学校全景



視察風景



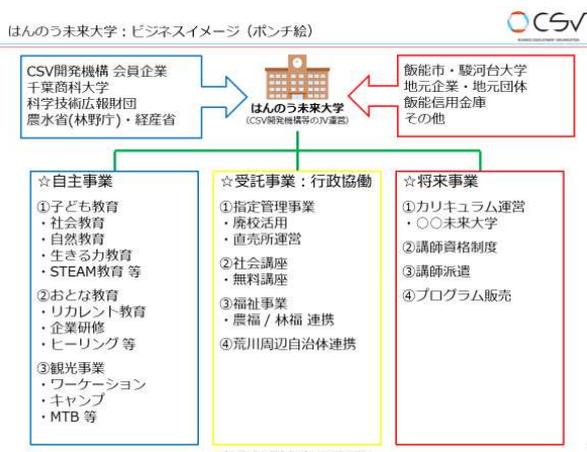
視察風景



WS風景

実施概要：  
 日時：2020年2月5日（火）  
 場所：飯能市  
 参加者：  
 ・CSV開発機構 = 12社 18名  
 ・CSV会員以外 = 2社 4名  
 ・飯能市関係者 = 8名  
 ・事務局 = 2名

### 事業イメージ



### 今後2年間のマイルストーン

はんのう未来大学：スケジュールイメージ

フェーズ	地域経営の考え方の議論	産学官の業務分担	実証事業開始 地域経営株式会社 始動
実施期間	2020年4月～	2020年10月～	2021年4月～
キーワード	課題抽出・方向性の確定	明確化した課題(解決)を核とした実証 ・ワークショプ開催	地域企業と連携したビジネス創出 ・スタート(事業)の開始
実施事項	1年間でやるべきこと ①自治体職員との議論 ・CSV概念の理解 ・他地域でのCSV事例紹介 ・企業のCSV事例紹介 ②都市企業・CSV開発機構の課題把握 ・現地視察 ・地元の説明 ③参加者での課題抽出 ・飯能市の社会課題 ・地域企業の実態把握 ・飯能市の実態把握 ・飯能市の実態把握等 ④チームの選定 ⑤スモール基の共有 ⑥ルールへの決定 ⑦テーマ別イニシアチブ ⑧資金調達手法 ⑨ゴール目標の共有 ⑩その他	①地域企業の現状と新規事業の芽の把握 ・地域企業との連携 ・地域企業との連携 ・地域企業との連携 ②都市企業・CSV開発機構の課題把握 ・現地視察 ・地元の説明 ③参加者での課題抽出 ・飯能市の社会課題 ・地域企業の実態把握 ・飯能市の実態把握 ・飯能市の実態把握等 ④チームの選定 ⑤スモール基の共有 ⑥ルールへの決定 ⑦テーマ別イニシアチブ ⑧資金調達手法 ⑨ゴール目標の共有 ⑩その他	①連携で生まれたアイデアを実証する連携 事業場(運営会社)の設置 ⇒ <b>地域経営会社</b> の設立 ②分野でのワーショプ開催 ③スタートでのPDCAを繰り返す ④エビデンスの蓄積
		目標：3年後(2023年3月)の「事業創出」飯能モデルの確立 目的：社会課題の解決を担う「ひとごと」【しごとごと】 趣旨：Shared Value Creator (共有価値の創造者)をつくる 手段：① <b>パイロット事業の推進</b> (実践を通じた人材育成) ・地域経営会社での若手経営者のアイデアを具現化 ・事業化機軸の立派なビジネスモデル等の構築は、 CSV開発機構が支援し、都市企業と協働で実施 ・複数の経営者共同による新規事業開発を言葉で支援 ② 並行して「ひととびの仕組みを制度化する」 ・産学官・自治体間の円滑な人材交流の場づくり ・学校と地域企業を結ぶ交流型教育手法の導入 ・外部のプラットフォームや既存プログラムを有効活用するオープンな プラットフォーム ③上記1, 2を継続推進の上で3年間でモデル化	

## 1年間の活動記録

### 〔2〕セミナー

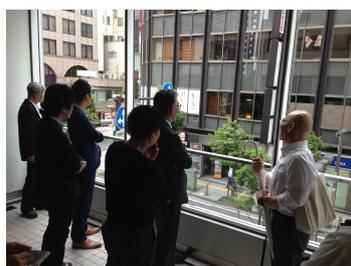
#### ⑤福井県セミナー：

- ・2019年6月21日(金) Conference Branch 銀座
- ・2020年2月13日(木) AP新橋



#### ⑥川崎市：

- ・川崎市取りの森プロジェクト 2019年5月28日(火)



- ・川崎市木材利用促進フォーラム：2020年2月13日(木) JAセレスみなみビル



## 1年間の活動記録

### 〔4〕 広報・啓発活動

#### ① 未来まちづくりフォーラム 実行委員

2020年2月20日、パシフィコ横浜で開催された「未来まちづくりフォーラム ～日本創生SDGsモデルをつくろう～」に、実行委員として参画しました。

〔会期〕 2020年2月20日（木）

〔場所〕 パシフィコ横浜

〔来場者数〕 3,300人

未来まちづくりフォーラムでは、自治体をはじめ持続可能なまちづくりを志すさまざまなアクターが出会い「協創力」を発揮し、理論と実践により革新が生まれる機会にします。

政府が、「SDGs未来都市」をこの2年間で60指定しました。

いよいよ自治体と企業や関係者との連携「日本創生SDGsモデル」をつくるのが焦点になります。

特に、SDGsでは、企業の本業力による「創造性」と「イノベーション」が求められています。

これにより、まさにSDGsを盛り込んだ国連文書にある通り「我々の世界を変革する」のです。

まちの個性「センス・オブ・プレイス」と、市民の誇り「シビック・プライド」がポイントです。

東京五輪2020、2025年の大阪・関西万博をひかえ

「まち・ひと・しごと」づくりの創意工夫を世界に向けて発信し、レガシーを形成しましょう。

環境・自然・歴史伝統・文化・農林水産物などの地域資源活用やブランディングと、

まちづくりのシティプロモーションやシビック・プライド機運醸成も重要なテーマです。

「未来まちづくりフォーラム」では、活動指針として

2030年までの持続可能性の国際共通言語である「持続可能な開発目標（SDGs）」も活用し、

「未来まちづくりフォーラム SDGs宣言（※注1）」を発信しています。

本フォーラムは、グローバルなネットワークを持つ「サステナブル・ブランド国際会議 横浜」と合流して、

「新たな地方創生モデル」の創出に挑みます。

## 1年間の活動記録

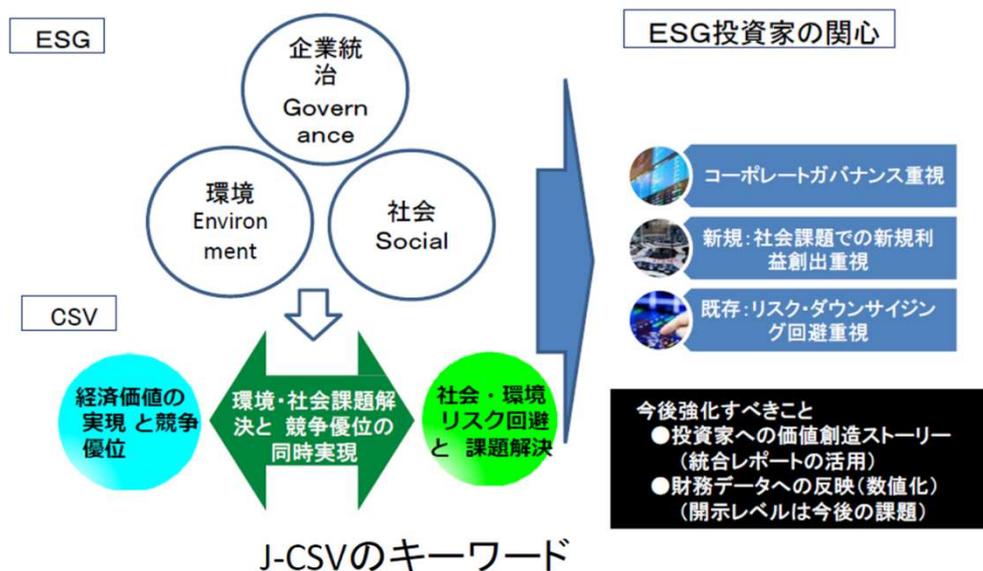
### 〔4〕 広報・啓発活動

#### ① 未来まちづくりフォーラム=ESG・SDGs・CSV

CSVをテコとした地方創生 ～地域課題の解決と高収益の同時実現を目指す～

一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 客員教授 名和 高司

ESG→CSV



### からだ→こころ

- 安全→安心 (Peace of mind)
- 良いデザイン→こころの情景
- 健康→幸福 (Wellness, Happiness)

### 共感共創力

- つながり、交感、分かち合い
- 時空の遊牧民(ノマド): 日常と非日常、未来と伝統(レガシー)
- セレンディピティ(偶然の出会い)

### 日本的価値観

- 品質→QoX (例: Quality of Life, Quality of Mobility)
- クールジャパン→なごみ、やすらぎ、癒し、わび・さび
- 世界のライフスタイルのプロデューサー (例: ライフウェア、Found Muji)
- マインドフルネス: ヨガ、座禅・瞑想、シックスセンス

## 1年間の活動記録

### 〔4〕 広報・啓発活動

#### ② 主なセミナー・講演 等

NTTドコモ地方創生セミナー（小寺専務理事）

飯能市森林勉強会（小寺専務理事）

もりづくりフォーラム（小寺専務理事）

愛知県森林環境(譲与)税勉強会（小寺専務理事）

飯能市西川材活用勉強会（小寺専務理事）

内閣府消費者委員会（水上副理事長）

木材産業SDGsビジネスの可能性（赤池理事長・小寺専務理事）

川崎市木材利用促進フォーラム（小寺専務理事）



#### ③ 政府等検討委員

森林サービス産業検討委員（赤池理事長）

森林サービス産業専門部会委員（小寺専務理事）